

# 「怒る」「叱る」「伝える」は同じ？

ねらい	子どもを注意するとき「怒る」「叱る」「伝える」の違いを理解し、子どもが受け止められる気持ちを考え、親の思いをうまく伝えるやり方を見つけるきっかけとする。
-----	--

流れ・時間	主な活動	留意点
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進行役の自己紹介</li> <li>○ワークのルールを説明</li> <li>○アイスブレイク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループわけ</li> <li>・自己紹介</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温かい雰囲気をつくるよう意識する。</li> <li>○アイスブレイク(本題に入る前に行う、話しやすい雰囲気づくり)を行うかどうかや自己紹介の長さは、全体の時間をふまえて自由に設定する。</li> <li>○進行役個人の見解に基づくアドバイスは避ける</li> </ul>
展開 (10分)	<p>ワーク1</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span> 思ったこと、感じたことをワークシートに記入する</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</span> 思ったこと等を話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エピソードを読んで、注意するとしたら、どんな言葉をかけるか、正直に思った通りの言葉を記入するよう伝える。</li> <li>○意見交換を通じて、どんな言葉が多かったかを知るとともに、さまざまな言い方があることに気づいてもらう。</li> </ul>
(10分)	<p>ワーク2</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span> 考えたことをワークシートに記入する</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</span> 気づいたこと等を話し合う(ペアになって、Aさん、Bさん双方の言い方を実際に口に出してもらおう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク2のAさんの言い方を読んで、別の言い方を考えるよう投げかける。</li> <li>○Aさんのような言い方は感情に任せた「怒る」言い方。これに対して、子どもが受け止められるよう気持ちを考えた上で、本当に届けたい思いを「伝える」言い方を考えてみるよう伝え、Bさんの言い方の箇所に記入してもらおう。</li> <li>○グループまたはペアで、Aさん、Bさん双方の言い方を実際に口に出してもらい、意見交換では、言い方の違いで受ける印象も異なることに気づいてもらう。</li> </ul>
(10分)	<p>ワーク3</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span> 思ったことをワークシートに記入する</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</span> 思ったことを話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもに注意をするときに、心がけたいと思ったことを考え、記入するようながす。</li> <li>○意見交換を通じて、「怒る」「叱る」「伝える」の違いを意識し、「伝える」ことの大切さに気づいてもらう。</li> </ul>
まとめ (10分)	資料シートの説明	○資料シートを配付し、説明する。